

平成30年度 西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 平成30年12月14日（金）午前9時30分～午前12時
- 2 会場 西三河総合庁舎 大会議室
- 3 参加者
 - ・協議会委員 21名
 - ・協議会委員以外の参加者 44名
（子育てネットワーカー3名、子育て支援団体20名、民生児童委員2名、保護者9名、行政関係者7名、教員3名） 合計65名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午前9時30分～午前9時45分
優良家庭教育推進組織等顕彰



優良家庭教育推進組織の紹介

- ・浄水コミュニティスクール連絡会議（豊田市）
- ・特定非営利活動法人 ing（安城市）
- ・にしお子育て応援隊（西尾市）
- ・天王小学校区家庭教育推進協議会（みよし市）

- 2 「実践活動発表」午前9時45分～午前10時35分

【実践活動発表】

- ・岡崎市立上地小学校PTA（岡崎市）
- ・青少年育成日進地区推進委員会（碧南市）

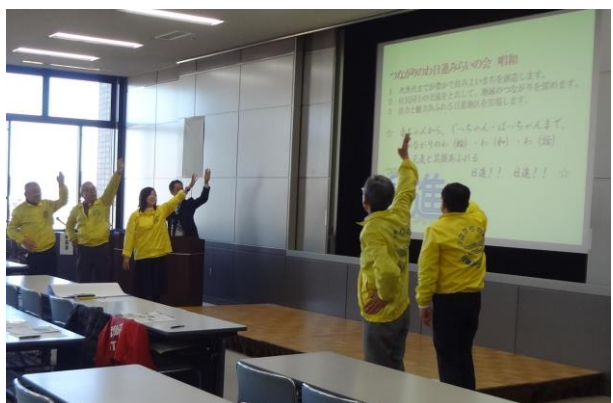
【紙上発表】

- ・刈谷市・豊田市・安城市・西尾市・知立市・高浜市・みよし市・幸田町

実践活動発表の様子



岡崎市立上地小学校PTA



青少年育成日進地区推進委員会

3 「グループ協議・情報交換」 午前 10 時 50 分～午前 11 時 45 分 ＜テーマ＞

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 子どもの自立心の育て方 | ② 子どもの社会性や道徳性の育て方 |
| ③ 身近で気軽に相談できる場所づくり | ④ 社会全体で取り組む基本的生活習慣づくり |
| ⑤ 参加したくなるような親の学びの場づくり | ⑥ 思春期・反抗期の子どもへの接し方 |



参加者の意見から

テーマ①

自分たちで考えていくことや様々な立場の人と関わりながら、いろんな経験を積むことのできる場をつくっていく。また、小さい頃の母子関係も非常に大切である。

これらのことを支えていく、場・人の存在、さらには支える人たちの協力が重要である。

テーマ②

地域コミュニティが希薄になっている。地域コミュニティと保護者がうまく関わっていく必要がある。子供を積極的に地域活動に参加させ、保護者以外の大人と接していくことが大切。地域として子供を見守り育てていくことで社会性や道徳性は育つ。

テーマ③

関係づくりが大切。相談に来た人との関係はもちろんだが、相談員同士や地域との関係づくりも大切。また、場所へ行くことができない人もいるので、訪問など、柔軟な対応ができるような体制づくりも必要。そのためには、人を増やしていくことが求められる。

テーマ④

キーワードは、コミュニケーションと大人のモラル。挨拶は、コミュニケーションの始まり。大人が積極的に声を掛けていく社会・地域づくりが大切。大人として社会生活を送っていく上でのお手本を見せることで、子供に基本的生活習慣が身に付いていく。

テーマ⑤

親のニーズに合った学びの場や内容にすることが大切。また、親同士のつながりや、主体性が生まれるような取組にする。父親の参加率の向上も課題である。おやじの会などと連携した活動も行われている。父親の参加で、会の雰囲気は変わる。

テーマ⑥

今の子供たちは、エネルギーを外へ出すことは少ないが、実はもっている子も多い。適度な距離感を大切にしつつ、遠慮せずに子供の側へ飛び込んでいくのも、大人として大切なことではないか。そうすることで、人間関係がつけられていく。

4 閉会行事 午前 11 時 45 分～正午

Ⅲ 課題や今後の取組について

1 西三河地区拡大家庭教育推進協議会の意義

○テーマ別情報交換会の時間は、様々な立場の方から事例を伺うことができたので、大変参考になりました。また、他市町、他団体の現状や課題についてもよく分かりました。

2 来年度へ向けての提案

○テーマ別情報交換会の時間は有意義であったので、時間を長めに取っていただきたい。

○テーマに対する事前アンケートなどを実施し、統計的なデータや資料があると、さらに情報交換の内容が深まるのではないのでしょうか。
(参加者のアンケートより抜粋)